



## おおた社会福祉士会 10月定例会

### 滞日外国人の生きづらさを支える

日時

2019年 10月 24日(木)

19時～20時30分(18時30分開場)

場所

大田区消費者生活センター2階  
大集会室

住所:大田区蒲田 5-13-26  
交通:JR蒲田駅東口から徒歩5分

もり きょうこ

ゲストスピーカー

森 恭子 氏 (文教大学教授)

著書:「難民のソーシャル・キャピタルと主観的統合:在日難民の生活経験への社会福祉学の視座」(現代人文社)など

参加費

500円

定員

100名(先着順)

申込方法

事前申込不要。どなたでも参加できます。直接会場にお越しください。

大田区内在住の外国人の国籍は中国が最も多く8,467人(35.0%)、次いで、韓国、フィリピン、ネパールの順に多くなっており、区内には現在130か国(無国籍・その他含む)の外国人がいます。大田区内在住の外国人数はこの10年間で約6,000人増加し、24,199人(2019年1月1日現在)となっています。この傾向は今後も続くことが予想され、多文化共生施策の重要性はますます高まっています。(「国際都市おおた」多文化共生推進プラン2019-2023年度版より)

公益社団法人日本社会福祉士会多文化ソーシャルワーク調査研究事業委員会は、2019年3月に「滞日外国人支援基礎力習得のためのガイドブック」をまとめました。今回は、同委員会のメンバーである森恭子氏(文教大学教授)をお招きし、移住者、外国籍住民、難民等についての福祉政策及びソーシャルワーク実践についてお話していただきます。滞日外国人への知識や理解が広がり、滞日外国人が安全・安心して生活していくための相談支援が充実するように、多文化共生における地域づくりを考えます。

お問い合わせ



おおた社会福祉士会事務局(生駒)

メール otachikukai@yahoo.co.jp

電話/FAX 03-3774-2955 携帯電話 090-2147-7073

※収集した個人情報は本イベント事務手続きにのみ使用し、それ以外の目的に一切使用いたしません。

Facebookもチェック

